

## 地方創生人材シンポジウムin北九州

パネルディスカッション  
「官民連携による地域活性化について」

パネルディスカッション モデレーター  
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局  
内閣参事官 渡辺 公德

### ◎なぜ、「地方創生」なのか……

◇日本が「人口大変動期」を迎えたことが背景



「人口減少・地域多様化時代」の到来

◇新たな社会経済変動に、従来の「政策体系」  
では、的確に対応できない。



『地方創生』＝新たな政策体系の確立

## 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

### (1) 「自立性」

→国の支援がなくとも事業が継続

### (2) 「将来性」

→地方の前向きで自主的・主体的な取組を支援

### (3) 「地域性」

→客観的なデータに基づき、地域にあった施策を支援

### (4) 「直接性」

→産官学金労言士の連携による効果の高い工夫を行う

### (5) 「結果重視」

→KPI（数値目標）を設け、PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）で検証

2

## 岩手県紫波町におけるPPP/PFI手法による公的資産の再編・活用（紫波中央駅前都市整備事業（通称：オガールプロジェクト））

- 長期間放置された町有地を公共と民間が連携して整備。図書館・地域交流センター、バレーボール専用体育館等の公共と民間の複合施設を整備。

オガールプラザ（官民複合施設） オガールプロジェクトの配置図



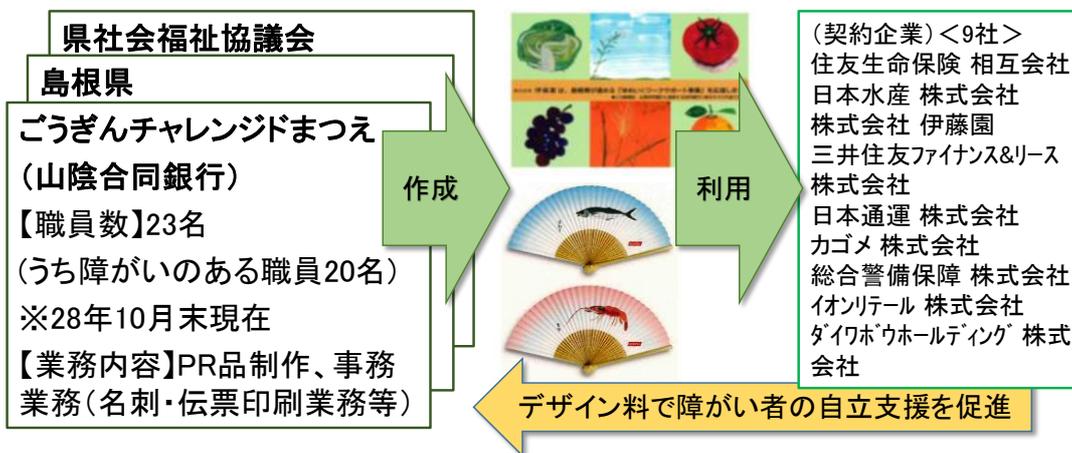
オガールベース（民間複合施設）



3

## 芸術的才能を活かした障がい者の自立支援に向けた官民連携の取組み（山陰合同銀行）

- 知的障がい者が専門的に就労する事業所で絵画制作等の業務を実施。制作した絵画を企業がステッカーや扇子等として有償利用しデザイン料を受領。
- 受領したデザイン料は、県内の障がい者就労支援事業所への交付金として配分。障がい者の自立支援を促進。



4

## 地方への支援（地方創生版・3本の矢）

### ■情報支援の矢

- **地域経済分析システム(RESAS)** (様々なビッグデータを見える化)

### ■財政支援の矢

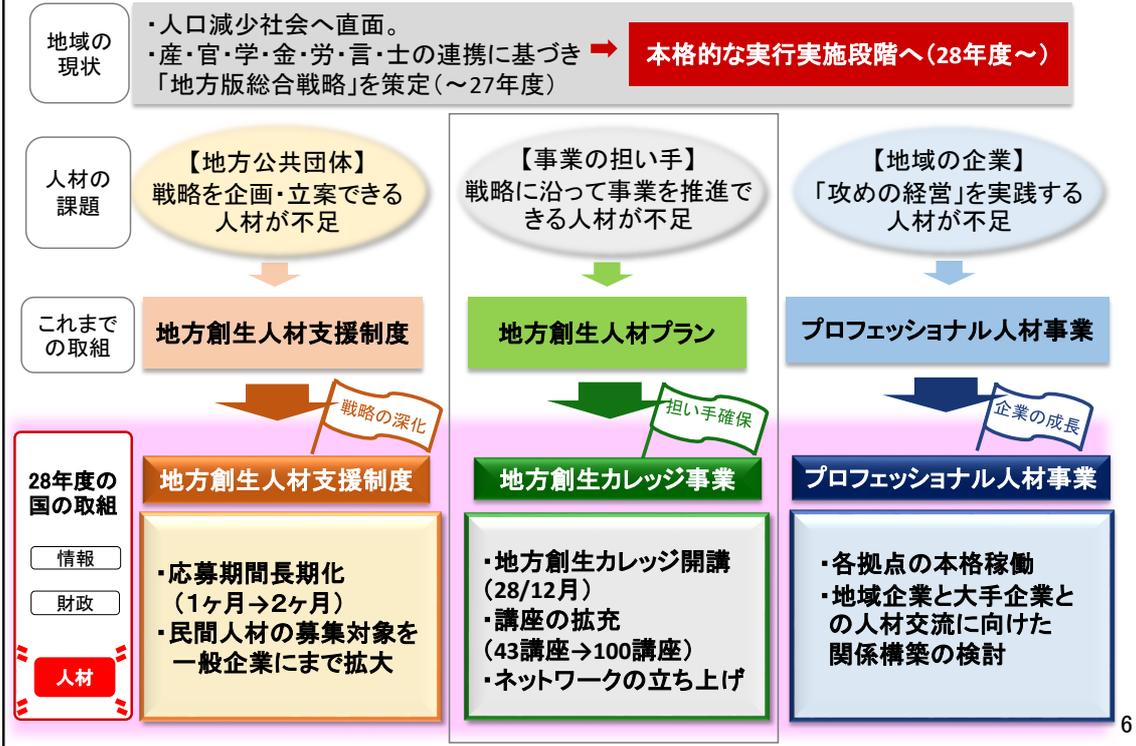
- 「**地方創生推進交付金**」 (28年度1,000億円 (事業費ベース2,000億円))
- 「**地方創生拠点整備交付金**」 (28年度900億円 (事業費ベース1,800億円))
- 「**まち・ひと・しごと創生事業費**」(地方財政措置) (28年度1兆円)
- **地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)**

### ■人材支援の矢

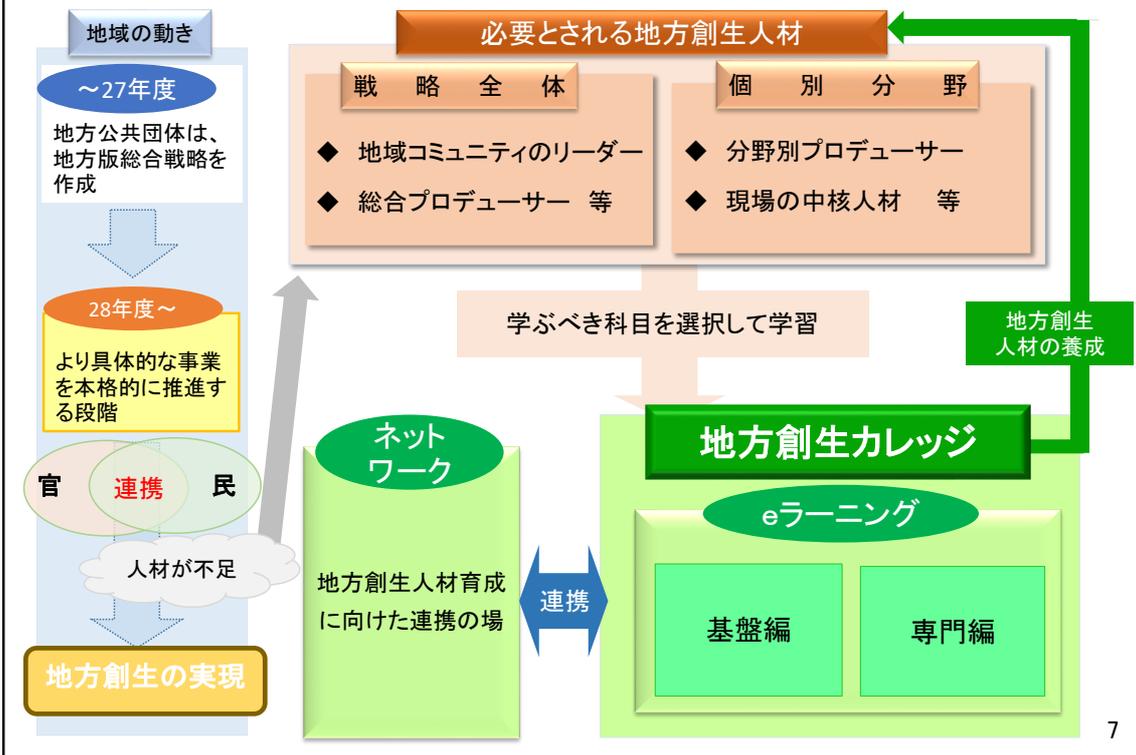
- **地方創生コンシェルジュ** (相談窓口を各府省庁に設置)
- **地方創生人材支援制度** (応募期間長期化、民間人材の募集拡大)
- **地方創生カレッジ事業** (地方創生を担う専門人材を確保育成)

5

## 地方創生における人材支援の取組



## 地方創生カレッジ事業



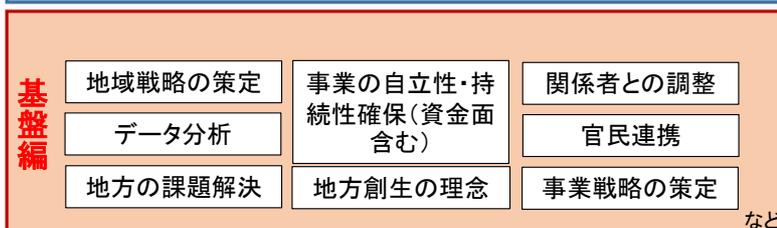
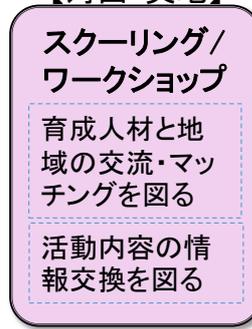
## 「地方創生カレッジ」のカリキュラム全体構造イメージ

- ・地方創生の深化に向けて、立場や機能に応じた実践的な内容を提供
- ・受講者の担うべき役割・経験、直面したフェーズなどに応じた選択受講が可能
- ・eラーニングを中心に対面・実地での講義・交流機会の提供や各教育機関とも連携

### 【eラーニング分野】



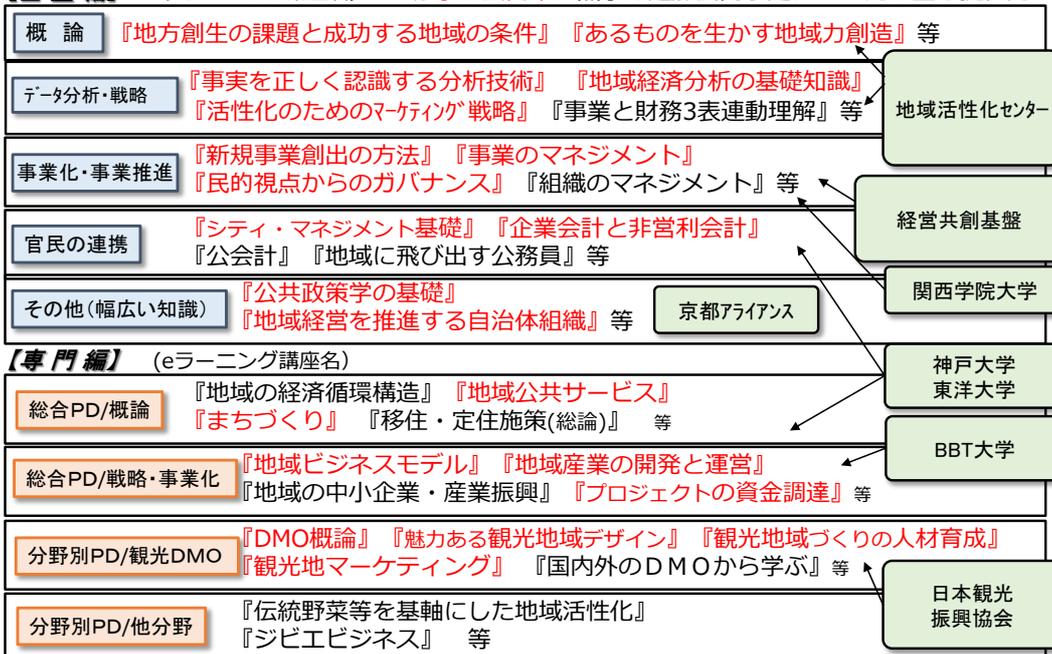
### 【対面・実地】



基盤編、専門編、対面・実地を組み合わせることで、コースを設定

## 「地方創生カレッジ」主な講座のラインナップ

【基盤編】 (eラーニング講座名) 赤字は公開中、黒字は追加公開予定、BOX内は主な提供先



## 「地方創生カレッジ」の講座公開と受講の流れ

### 【講座の公開と受講料のあり方】

- H28年12月に43講座を公開、来年度初めまでに100余講座を順次公開
- 基本的に有料／但し、少なくとも今年度内はモニター受講として無料&アンケート

### 【受講の流れ】

①カレッジポータルサイト (<https://chihouseusei-college.jp/>) にアクセス

②分野や役割,取組課題を示した「カテゴリー」や主なテーマを示した「タグ」から、関心事項やスキル,レベルに応じて講座検索



③受講講座にアクセスし、ログイン  
(初回のみID・パスワードを発行)

④受講を開始

- 講座は主に「動画」「テキスト」「確認テスト」から構成 / 1講座@240分程
- 標準的には「動画」の視聴最小単位を10分程に設定、最小単位が5-6程纏まって『章(1ユニット)』(@60分程)を構成。
- 24時間いつでも、PC、スマートフォン、タブレットから受講可能

⑤テスト合格後、講座毎に修了証を発行